

福岡県篠栗町

# ませぐり

議会だより

No. 198



デポルターレの風

(意見交換会 スポーツ推進委員) ..... 2

12月定例会 ..... 4

ここをどうする!?(7人が一般質問) ..... 8



平成30年12月議会号

歳末ふくし食堂

# 特集 意見交換会

## デポルターレの風

### 第12回 スポーツ推進委員

町のスポーツ振興のために活動するスポーツ推進委員のみなさん。今回は10名のうち4名の委員さんに出席していただきました。

子どもから大人まで、みんなで一緒に楽しめる運動や軽スポーツの普及に取り組んでいます。

活動内容は？

●スポーツイベントの企画運営からグラウンドゴルフやシャッフルボードなど軽スポーツの普及ですね。

これからスカットボールを普及しようと思っています。

——どんなゲームですか？——

ターゲットのところに1・2・3点・5点と穴があいたボードがあって、5mぐらい離れた場所からゲートボールみたいに打ちます。穴の中にたまった合計点数で勝ち負けを決めます。

点数の穴に入れるんですが、斜めになって、なかなか止まらな

い。穴のところ少し曲面になっているので、なかなか入らない。あまりスカットしないって言われました。(笑)



鵜城 俊仁さん

——行政区からお願ひすれば競技指導に来てくれますか？——

はい、行きます。事前に行ってルール説明とかですね。

あとは、ささりんピックの中身を考えたり、新体力テストっていうものを年2・3回行っています。

やり甲斐を感じることは？

●イベントで参加者が増えるのは、嬉しいことで、休日に大会に参加していただいているのは、すごくありがたいと思います。

●研修会等に行つて、自分のために使える部分で理解しながら、周りの人達に話し聞かせてあげるといふ部分は、やり甲斐になります。

●スポーツ推進委員は「決める」「発信する」という感じなので、自分の意見が反映したり、そういった

ところにやり甲斐を感じます。

●子どもたちにスカットボールを教えてあげて、うまくいって喜んでくれた瞬間ですね。

あと、買い物に行つたときに「あつ、体操の人」と言われると、嬉しいなと思います。(笑)



井上 晋祐さん

### これからの課題は？

●どうしても土日・休日にしか活動できない。平日の夜も仕事の都合とがありますので、やりたい事とやれる事のギャップを感じる事が多くなっていくんです。何ができるのかを考えなければと思っています。

●今、子どもたちも、外でそんなに遊ばないじゃないですか。体を動かす楽しさを教えられたらなって日々思っています。

●森林スポーツフェスタが無くなったので、町内に子どもたちが出るマラソン大会がない。

少年スポーツの子どもたちも、そうじゃない子どもたちも出てたので、それに代わるものが出来ればと思います。

●スポーツを日ごろやってない方たちに対して、どのようなことを進めていけばいいのか、体力テス



花田 茂明さん

トも、自分の体力レベルを知っていただきたいのに参加いただけないんですよ。

### スポーツを通して篠栗町を魅力的にする方法は？

●町民の皆さんが、週に一回でも何かしら運動をする感じになると、健康寿命も(延びて)よくなるのかなって思います。町全体になると、なかなか実現が難しいので、少しずつ広めていく形で、地道に活動するしかないのかなと思います。

### ご自身のスポーツの楽しみは？

●陸上は学生の時、10年間やっていたんですけど、今は走ること自体を楽しみでやっています。「ちよっと痩せてきたな」とか、「筋肉ついてきたな」とか、あとは達成感ですね。

●高齢になってくると、(競技で)結果を残すのは難しいので、若い人と一緒に楽しむとか、一緒に活動できるのは本当に楽しいし、パワーを頂けると感じるんですよ。●何より子どもたちの成長が一番楽しいし、嬉しいし、自分も正しいことをしないと。背筋がパシッとするんですよ。

●技が一つできるようになったら嬉しいですね。いろんな地域の人たちと仲良くなったりとか楽しかったです。



有隅 里香さん

### 町に望むことは？

●篠栗町の施設は、糟屋郡の中では一番だと思っています。ただ、社会人って、どうしても使う時間が夜8時から10時に集中します。

体育館で言えば、3か所をみんな取り合ってる状況なんですよね。種目によって使える施設、使えない施設があるので、そういう調整をしていただけると助かるなと思います。

●社会体育館は、女性や高校生の女の子たちだけでは、送迎の関係とか、夜10時にもなると防犯上も使えないとか、やっぱり気にしてあげないといけないんですよ。そういう所がネックになって女性

のチームスポーツの人口が減ってるところもあるんですよ。

他町に比べて平均年齢が若いわが町のスポーツ推進委員の皆さん。スポーツマンらしく明るく、活気のある、楽しい意見交換会となりました。正しいラジオ体操の指導普及にも取り組みたいと意欲满满です。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。スポーツの魅力が多くの人に届くとうございました。

ありがとうございます。

### デポルターレ

ラテン語でスポーツの語源。義務からの気分転換、元気の回復、気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素を指す。スポーツ庁は、これらがスポーツの本質としている。

# 12月定例会

12月6日から14日まで、9日間の会期で開催しました。総務建設・文教厚生両常任委員会、予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算など計10議案を審査しました（1件撤回）。また最終日の本会議にて、全ての議案を原案のとおり可決・同意しました。各議案に対する賛否一覧を7ページに掲載しています。

## 条例

### 督促手数料を廃止

篠栗町税条例の一部を改正する条例の制定  
 篠栗町債権管理条例の一部を改正する条例の制定  
 篠栗町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定

自治体の義務として発送する督促状に、事務の対価として手数料を課することは、行政サービスの観点から望ましくないため、町の税債権における督促手数料の徴収を廃止する。

平成31年4月1日より施行

この条例の施行日より前に納期限が到来する債権に係る督促手数料については、従前の例による。

**問** 納期内納税者との公平性の確保は。

**答** 税負担の観点からは延滞金の徴収が唯一の方法である。

## その他

### 天空会館の管理

引き続き**社会福祉協議会**へ指定管理者の指定

篠栗町葬祭場「天空会館」の指定管理者である社会福祉協議会の指定期間が満了となるため、引き続き同協議会を指定管理とするもの。

期間は平成31年4月1日から5年間。



天空会館

### 住居表示を「街区方式」と定める。

### 住居表示の実施区域及び方法

表示方法には「街区方式」と「道路方式」があり、一般的に用いられている、道路、鉄道、河川等によって、複数の街区に区画し、街区符号と住居番号で示す「街区方式」と定める。

住居表示を実施すべき市街地の面積は、約6.4kmとする。

○丁目△番×号

表示例

### 受益者負担金を減免

激甚指定を受けた平成30年7月豪雨災害で被災した農業用施設災害復旧工事に伴う受益者負担金の減免について

激甚災害指定の平成30年7月豪雨災害で被災した、萩尾区の農業用水路および山手区の広田井堰の災害復旧工事に伴う受益者負担金、合計132万6780円を減免することに同意した。

一般会計補正予算

補正額 3920万円 補正後予算総額 102億4873万円

主な補正については別表1・2のとおり。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満四捨入)

県支出金	2417万円
町債	△1378万円
普通交付税	2758万円

(表2) 歳出の主なもの

民生費 (国県補助金返還金)	1548万円
農林水産業費 (荒廃森林再生事業)	1011万円

●債務負担行為について、行政事務包括委託、放課後児童クラブ・児童館運営業務他(平成31年度～平成33年度)ほか4件を追加。地方債補正では臨時財政対策債について起債の限度額を3億4454万5千円に増額。一般会計出資、地方道路等整備事業については廃止され、一般財源へ財源更正された。

国民健康保険特別会計補正予算

債務負担行為の追加 レセプト点検委託料(平成31年度) 281万円



予算特別委員会

議案の撤回

議案第85号  
農業用施設整備工事に伴う受益者負担金の減免について

撤回理由

過年度分と現年度分の負担金を免除することになった後の事務処理について、明確に規定していなかったため。

全国町村監査委員協議会表彰

大楠英志議員が、この度、全国町村監査委員協議会から町村監査功労者として表彰されました。議会選出の監査委員として平成23年5月から多年に渡り、町の行財政運営の監査に尽力され、地方自治の振興発展に貢献されました。



委員会活動

篠栗北地区産業団地整備事業  
特別委員会

10月3日(水)

経過説明：開発支援業務委託について  
事業パートナー選定について  
協議会開催について  
ボーリング調査について  
官庁との協議について

12月12日(水)

進捗状況：安全祈願祭(10月26日)  
経過説明：工事設計書について  
資金計画書について  
進捗状況：造成工事の工期を当初計画より  
2か月延長し2020年4月ま  
じゅんぱんじゅ

町村議会常任・議運正副委員  
長研修会

10月26日(金)

演題 「地方議会をめぐる諸問題と委員会の進め  
方について」

講師 内田一夫氏

(前全国都道府県議会議長会 事務局次長)

議会広報広聴委員会 研修会

11月14日(水)

県自治会館で、市町村議会広報研修会が開催さ  
れ、グラフィックデザイナー長岡光弘氏による「読  
まれる議会だよりの編集と表現ポイント」と題し、  
全国の議会広報を参考にした講義が行われた。  
「やさぐり議会だより」もクリニックを受け、  
改善点を指摘されたが、特集！意見交換会では「読  
者に読ませる魅力を持った編集」というお褒めの  
言葉をいただいた。



研修会での広報クリニックの様子

議会運営委員会研修

10月22日(月)～10月23日(火)

「ICTの進展について」  
視察先 総務省(衆議院第1議員会館第7会議室)  
急速に進展するICT(情報通信技術)がどの  
よつな方向へ向かうのか、将来、自治体や住民生  
活はどう変わるのかを探り、短期的にどのような  
対応が必要かを考えるために研修を行った。  
急速に進展する情報化社会の中であって、どの  
タイミングで、どのような技術を導入するのか、  
見極めが肝心だと感じた。



10月臨時会

10月3日に臨時会を開催しました。  
 予算特別委員会において、町長提案の補正  
 予算1議案を審査し、本会議にて、原案のと  
 おり可決しました。

不動産取引に関する付帯業務委託  
 の債務負担行為を可決

平成30年度篠栗町篠栗北地区産業団地  
 整備事業特別会計補正予算

不動産取引に関する付帯業務委託について年度  
 の委託費が確定していないため、債務負担行為と  
 することができる事項、期間及び限度額を次のと  
 おり定める。

期間 平成30年度から平成32年度  
 限度額 2160万円

※複数年度にわたる債務を負担する行為を指し、  
 事業または支出の予定が不確定である場合に等  
 用いられる。

全員協議会で陳謝

9月定例会で採択された「農業振興地域除外に  
 関する請願書」の審査中の取り扱いについて、関  
 係住民に誤解を与えたとして、大楠英志議員が全  
 員協議会の席上で陳謝した。

議決結果一覧表

	議案番号	議案名	議決結果
10月臨時会	77	平成30年度篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計補正予算 (第1号)	全員賛成可決
	78	篠栗町税条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	79	篠栗町債権管理条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	80	篠栗町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
12月定例会	81	篠栗町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正す る条例の制定	全員賛成可決
	82	住居表示の実施区域及び方法	全員賛成可決
	83	指定管理者の指定	全員賛成可決
	84	激甚指定を受けた平成30年7月豪雨災害で被災した農業用施設災害 復旧工事に伴う受益者負担金の減免	全員賛成同意
	85	農業用施設整備工事に伴う受益者負担金の減免	議案撤回
	86	平成30年度 篠栗町一般会計補正予算 (第6号)	全員賛成可決
	87	平成30年度 篠栗町国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	全員賛成可決

# 7人が一般質問

## 7人が一般質問

1. 大楠 英志 議員…………… 9
  - 第6次総合計画（篠栗みんなの羅針盤）の取り組みを尋ねる
2. 栗須 信治 議員…………… 10
  - 生涯スポーツの振興にウォーキングの普及を
  - 小学校で血液検査を
3. 村瀬 敬太郎 議員…………… 11
  - 住民の利便性を考えた情報化を
4. 古屋 宏治 議員…………… 12
  - 農業振興地域整備計画について
5. 荒牧 泰範 議員…………… 13
  - 今期の質問の経過説明を求める③
6. 横山 久義 議員…………… 14
  - 個人に売却すべき町有地をなぜ法人に譲渡したのか
  - 条例に違反し、なぜ今まで説明も謝罪もなかったのか
7. 田辺 弘之 議員…………… 15
  - ランドセルなど、登下校時の持ち物の配慮は
  - 小学校の新学習指導要領の英語学習への対策は

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

# 第6次総合計画（篠栗みんなの羅針盤）の取り組みを尋ねる

町長「年度単位で管理し速やかな計画の達成に努める」



大楠 英志

**問** 第6次篠栗町総合計画は、2018年から5年間となっている。

**答** 社人研の推計によると、2000年までに有効な施策をしないと人口は2万5千人とされている。人口ビジョンでは、2060年の総人口を2万9千人と想定している。

**問** 住宅整備や移住・定住策により、2020年までに400人弱増加させ、毎年200人前後の増加を目指すところが説明を求める。

**答** 【町長】 総合計画は、今年度からの計画で8か月が経過した。予算が

絡む等で初年度に実績を示せないことがある。進捗については、年度単位で管理し計画の達成に努める。

**問** 結婚や子育て支援で、特殊出生率1・79から2015年には1・83に上昇させ以降1・83を目指すところ。特殊出生率は、

**答** 【まちづくり課長】 出生率1・83は厚労省の数値であり、平成29年はまだ示されていない。町の地方創生システムによる数値は、1・53となっている。

**問** 15歳〜24歳が転出超過になっている。転出抑制の対応策は、

**答** 【まちづくり課長】 民間住宅開発を誘引することで、15歳〜24歳を含む世帯の転出抑制に効果があると考えている。

**問** 課題で地域コミュニティの維持とある。自治会加入はまちづくりの原点であるが加入率は、

**答** 【まちづくり課長】 平成30年4月現在、70・0%となり前年比0.3ポイント減少している。

**問** 対応に関しては、転入者に住民課窓口にて組合加入のチラシを配布している。

**問** 雇用の確保が町の課題であり、篠栗北地区産業団地整備事業が課題解消につながるを期待する。大きな財源を投資している事業であり、税収や上下水道使用料、雇用についての答弁を求める。

**答** 【まちづくり課長】 進出企業3社の立地協定は終えているが、残り3社は協議中で現段階では答弁できない。全企業が決まりしたい数値を示せるよう努力したい。雇用数は、250人の新規採用を目標にしている。

**問** 協働のまちづくり事業は、15団体が目標とあるが進捗状況を尋ねる。

**答** 【まちづくり課長】 今年度は、申請数11件（新規事業は5件）。新たなメニューの提案や要綱の見直しなどで活性化を考える。

※国立社会保障・人権問題研究所

# 生涯スポーツの振興に ウォーキングの普及を

社会教育課長「ラジオ体操と合わせて普及を図りたい」



栗須 信治

**問** 歩くことは、いつでも・どこでも・誰でも楽しめる、場所や道具を必要とせずスポーツの苦手な人も生活に取り入れやすい有用な運動である。

また、生活習慣病の予防・改善に有効なことが分かっており、気分転換やリラクセスするなど精神面にも良い効果をもたらす。

まずは、足元からできることとして気軽に始められるウォーキングを末端まで普及させてはどうか。



**答** 【社会教育課長】 町民の皆さんが楽しんでいただく環境整備としてソフト面では、四季の景色を散策できるコースを実際に歩いて、時間や体にかかる負荷などのデータや情報を発信し、ハード面では力ブトの森公園コースの整備など両面で充実を図りたい。

また、すでに自発的に活動されているクラブやサークルの支援を健康福祉部門と一体となり進めながら、現在、スポーツ推進委員を中心に推進しているラジオ体操と合わせて気軽な運動として、普及を図ってまいりたい。

## 小学校で血液検査を

教育長「健康づくり事業」と連携し  
検討していきたい」

**問** 香川県では、6年前から4年生を対象に血液検査を実施している。2016年の調査では、これまで受診した2万9142人のうち、12.6%が肝機能異常、11.1%が脂質代謝異常、10.6%が血糖値異常であった。

本町でも血液検査を実施し早期発見・早期指導すること、食生活や生活習慣の改善、食育の学習、生活習慣病の予防につながると思う。導入できないか尋ねる。

**答** 【教育長】 本町では、学校保健安全法に基づき健康診断を毎年実施し、健康の維持や疫病の予防、早期発見に努めている。生活習慣病については、肥満検査と尿検査を実施し、疑わしい場合は2次検査を行い予防や治療につなげている。また、保健指導や食育として基本的な生活習慣を身に着けることなど3年生から段階的に指導している。

血液検査は、検査後の児童と保護者を対象にした家族ぐるみの食習慣・運動習慣の改善、また保健師による継続的な指導などが重要と考える。従って生活習慣病を主務としている「健康づくり事業」と連携して検討していきたい。



村瀬 敬太郎

# 住民の利便性を考えた情報化を

町長「新たな取り組みをする時代に入ったと思っている」

**問** 情報通信技術（ＩＣＴ）は急速に進展しており、確実に住民生活に入ってきている。

わが町での利活用状況は。

**答【町長】**

山間部への光通信の配置、役場やクリエイト篠栗のＷｉＦｉ環境整備、議会中継ライブ配信、予防接種や検診予約を行えるモバイルサービス「ぐりナビ」、議会や課長会の電子会議システム、電子入札などで利用している。

**問** 総務省の地域情報化アドバイザー派遣制度は、さまざまな分野で成果を挙げている。

派遣要請はしているか。

**答【財政課長】**

医療・介護・健康及び防災関連につき要請しており、関係職員向けの講演、福祉課職員への支援・助言をいただくことになっている。

**問** 地理情報システム（ＧＩＳ）構築の効果は。

庁舎内での仕事の効率化、地図を用いての避難勧告等の即時配信、通行止めや工事箇所の公開等ができる。また、観光情報の提供も検討している。

**答【財政課長】**

庁舎内での仕事の効率化、地図を用いての避難勧告等の即時配信、通行止めや工事箇所の公開等ができる。また、観光情報の提供も検討している。

**問** 住民の利便性を考えた情報化の計画は。

住民の利便性を考えた情報化の計画は。

**答【財政課長】**

保険・医療対策の推進、子育て支援の充実、学校教育の充実のほか、住民・事業者の利便性の向上、地域課題の解決、行政事務の効率化に努める。

**問** 防災行政無線での時報や防火週間のサイレン吹鳴など、根強い声がある。携帯電話・スマートフォンに音声や文字の情報を配信し、自動再生できるアプリケーションもあるが、導入を検討しては。

有意義なものと考えているが、利用方法に精通しない高齢者等が使いこなせるかの問題もあるので慎重に検討したい。

**答【総務課長】**

有意義なものと考えているが、利用方法に精通しない高齢者等が使いこなせるかの問題もあるので慎重に検討したい。

**答【町長】** これまでの防災無線に代わるシステムとして、テレビあるいはスマホで電源を切ついても非常時には強制配信できるようにシステムづくりができる時代になりつつある。

また、これが具体化すると思っている。

**問** 単純事務を自動化できるロボット（ＲＰＡ）の導入を検討しては。

検討に値するものと思っており、勉強させている。新たな取り組みをしていく時代に入ったと思っている。

**答【町長】**

検討に値するものと思っており、勉強させている。新たな取り組みをしていく時代に入ったと思っている。

**要望**

情報通信技術（ＩＣＴ）の導入は避けて通れない。住民の利便性・安全・安心を考えた選択をしていただきたい。

# 農業振興地域整備計画について

産業観光課長「要件がそろえば審査・競技を実施する」



古屋 宏治

**問** 計画見直しは、マスタープラン変更時と同時期か。

**答**【産業観光課長】マスタープランと同時に検討を行うものではない。

**問** 平成7年の見直しの内容とは。

**答**【産業観光課長】農業生産基盤の整備、農業近代化施設の整備検討で、総合運動公園開発事業が主なもの。

**問** 平成7年以降一度も見直しは無かったのか。

**答**【産業観光課長】地域内にビジョンに沿った実効性の高い開発が無く、必要性が無かった。

**問** 農家(農地所有者)へ、今後の農地・農業についてのアンケート調査を行っているか。(特に農振地域)

**答**【産業観光課長】アンケート調査は実施しており、窓口相談や農業委員会・農事組合長から諸事情を聞いている。

**問** 窓口相談や委員会・組合長云からの話とは。

**答**【産業観光課長】有害鳥獣駆除対策や農地相続、耕作者問題。

**問** 農振除外・農地転用の要件をすべて満たした計画申請であれば、除外・転用の検討をされるのか。

**答**【産業観光課長】除外の5要件を満たしていること、計画が転用の制度上可能であれば審査・協議を実施する。

**要望** 除外・農転は、開発面積が4ha以内であれば県との協議である。数年に一度4ha以内の開発が進めば、町のビジョンに沿った全体計画が厳しくなる。そうならないためにも、産業観光課・都市整備課、まちづくり課と将来の篠栗町のあるべき姿を早期に検討願う。

農家の方々から話を聞くこと今後の農業・農地・跡継ぎ問題の心配ばかりである。農振地域(青字地域)は、永遠に除外が不可能だと土地神話のように思っている。そのようなことは無い。

一部の方の話だけでなく、農家の方たち皆さんの考えや思いを聞く、アンケート調査を実施して頂きたい。

**問** わが国には、農業の健全な発展を図るため農業地域保全の「農業振興地域の整備に関する法律」があり、市町村が農業振興地域整備計画を定めそれぞれ農業振興策を講じている。昨今では、農業を取り巻く環境は厳しさを増している。そこで、今後の町の農業・農地の方向性について問う。

**答**【産業観光課長】農業振興計画見直しの時期は。(前回より)後

**答**【産業観光課長】平成7年9月以来見直しはなく、今後とも計画はない。

# 今期の質問の経過説明を求める③

## 町長「引き続き検討していく」



荒牧 泰範

問……………

これまでの質問の中から住民福祉関係の現況報告を求める。

①森林セラピー事業で、当初の目的は住民の健康増進と説明されていたが、現在の町民の参加人数と企業のストレスチェック対策にどの程度利用されているのか。

加えて、住民の意見として「篠栗町にこの事業が必要か」との疑問の声をよく聞くが、継続の賛否のアンケートを取られてはいかがか。

②表彰規定について、現在は功労及び善行表彰しかなく、対象者は町長や議員などの限ら

れた役職の方が多額の寄付者等で、各界で活躍される方々の苦勞に報いる事ができない。全体の表彰規定を考えることを検討するとの発言のその後を尋ねる。

③子育て世代の流入による人口増加策について、その後の実効的な策があるのかを尋ねる。

子育て世代支援と子ども達の健全育成のために、以前実行していたいただいた妊婦健診補助に加え、産後健診でも実現していただけないか。増加傾向にある乳児虐待や母親のノイローゼ予防対策に非常に効果的であると思われるがいかがか。

答【町長】

①体験をされた方は1100人程度で、うち町民が309人で参加企業は3社19人であるが、労働安全衛生法改正により企業において取り組みが増える期待をしている。

アンケートについては健康増進のための意見を聞くことは検討の余地がある。

②指摘のとおり限られた表彰が現状である。教育委員会表彰と調整を図りつつ表彰委員会での意見を伺いながら、より広い分野で活躍されている方を表彰できるように検討していく。



森林セラピー

③子育て世代流入の取り組みは、今年7月開設した子育て世代包括支援センターにおいて妊婦期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図っている。

産後健診については非常に大切な健診だと承知している。公費助成については久留米市やうきは市で実施されているが、併せて産後ケア事業による支援を行うものでその成果を参考にしたい。財政的負担や他諸情勢を踏まえ検討課題とする。

# 個人に売却すべき町有地を なぜ法人に譲渡したのか

財政課長「法人社長と個人が同一のため、  
申し出により一括して売却した」



横山 久義

**【答】総務課長**  
売却当時は、財政課が所管していたが、現在は総務課の所管になっているので9月の一般質問答弁時は担当課に確認して答弁した。今回も問題ないものと考えてる。

**【問】**  
産業団地予定地から国道201号線を挟んだところに国道に沿う形で細長く町有地が存在し、隣接する民有地から国道への出入りを塞ぐ格好になっており、民有地の有効利用の観点から町有地の売却を行ったと前回議会で答弁があったが、売却手続き等に間違いはなかったか。

**【問】**  
隣接する3筆の所有者の購入意思を確かめ売却したとのことだが、たとえば、Aと繋がる場所はAに売却する。そうしないと売却の目的がずれる。しかし、そうならない。隣接地は個人名、でも売却は法人にしている。これは問題では。

役場はあまり融通を利かせ過ぎてもいけない。法人と個人では全く違う。行政はルールに従ってやるべきではないか。

**【答】財政課長**  
当時、私が担当していた。法人、個人同じ名前の方で、法人と一緒に払いたいとの申し出があり一括売却した。

## 条例に違反し、なぜ今まで説明も謝罪もなかったのか

町長「本議会の冒頭に説明し、謝罪すべきだった」

**【問】**

平成29年度分の監査における

指摘に土木工事を行った際に発生する地元負担金を町が徴収していなかったとあるが、条例で減免の必要性がある場合、町長は議会の同意を得て、負担金を減免することが出来る。ある。

**【答】都市整備課長**  
篠栗町土木工事負担金徴収条例に、広範な公共性のため受益者の範囲を限定することが困難であるときや、天然災害が甚大であるとき、その他特に減免の必要があると認められるとき、町長は議会の同意を得て負担金を減免することが出来る。ある。

指摘に土木工事を行った際に発生する地元負担金を町が徴収していなかったとあるが、条例で減免の必要性がある場合、町長は議会の同意を得て、負担金を減免することが出来る。ある。

怠っていたことを深くお詫びする。

今後の処理については9月に債権管理審査委員会へ諮り、本議会に議会の同意を得るため上程している。

**【答】町長**  
本来であれば開会のときに、事の経緯を詳しく説明した上で私から謝罪をするものであったと思つ。お詫び申し上げます。

# ランドセルなど、登下校時の持ち物の配慮は

教育長「時間割の工夫などで対処している」



田辺 弘之

問.....

文部科学省は、ランドセル等の児童生徒の携行品にかかる配慮について教育委員会に事務連絡をした。

篠栗町の対応を質問する。

教材等を机の中に置いて帰る事を認めているのか。

答【教育長】

宿題や家庭学習で使用する予定のないものは認めている。

問.....

携行品の分量が特定の日に偏らないようにしているのか。

答【教育長】

学級だよりで1週間を持ってくるものを家庭に知らせたり、数日に分けて持たせてきたり、図工や習字、体育が同一日

にならないような時間割の工夫をしている。

問.....

必要に応じて特別教室内の所定の場所に置くことができるのか。

答【教育長】

個人の学習用具は置かせないようになっている。

問.....

鍵のかかる部室やロッカーであれば置いて帰る事を認めているのか。

答【教育長】

施設できるようになっているが、個人の所有物は持ち帰らせている。

問.....

2020年度の外国語学習の増加対策は。

答【教育長】

副読本が検定教科書に変わりますが、今のところ特別の対応は考えていない。

要望.....

小学校低学年の腰痛も多い。更に細かい配慮をお願いする。

## 小学校の新学習指導要領の英語学習への対策は

教育長「2年前倒しで完全実施している」

問.....

2020年度から小学校5・6年生は「外国語」、3・4年生は「外国語活動」の英語教育が拡充される。

問.....

的確に対応していくための取り組みは。

答【教育長】

平成27年度より英語教育の充実に取り組み、翌年、篠栗小学校が糟屋地区の研究指定校となり、学習指導方法と英語教育力リキュラムの開発に取り組んでいる。開発した指導方法とカリキュラムの普及で町内のどの小学校でも同じレベルの英語教育が実施されるようになっている。

小・中学校の教員合同研修会も実施し、本年より他市町に先駆け、町内3校において3・4年生は年間35時間、5・6年生は70時間の英語教育を2年前倒しで

完全実施している。

問.....

篠栗小の研究指定は今年で終わるが継続は可能なのか。

答【教育長】

出来ないようになっている。

問.....

町独自の指定校制度も考えてほしい

答【町長】

新たな教育委員会制度で行政が関与する度合いが高くなった。次年度からの取り組みに協議を進めてまいりたい。



# 輝くまちの宝

## 年末年始・篠栗歳時記



北校区 クリスマスコンサート（12/8開催）  
北勢門校区の音楽を中心とした、文化的な交流の場として始まったコンサート。（地域づくり協議会主催）

北勢門小学校舞踊クラブ  
緊張感が伝わってきます。



炎で顔が照らされて…  
神秘的な一枚です。

子どもから大人まで  
笑顔いっぱい。

歳末ふくし食堂（12/27開催）  
独居高齢者・子育て親子等を対象に食事の提供を通して世帯の孤立を防止し、社会参加の促進を図ることを目的に行われました。（社会福祉協議会主催）



尾仲区 ほっけんぎょう（1/6開催）  
正月飾りやしめ縄など持ち寄って燃やし、無病息災を願う伝統行事。

旬花衆灯

平成の時代が終わろうとしている。5月1日から新元号となる。平成天皇が昨年未、「平成の世には戦争が無かった」と語られたが、新しい時代はどんな世の中になるのだろうか。

私たちは、世の中が目まぐるしく変わる時代の中に生きており、その速度は新たな時代になっただけに加速するであろう。

ただ、いつでも未来への「希望」を抱いておきたいものだ。これからも皆さんと力を合わせ「希望」をもって前進していきましょ。

古屋 宏治

3月議会は

3/4月開会

3/6水 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 阿部 寛治 議会広報広聴委員会 委員長 栗須 信治/副委員長 古屋 宏治  
委員 松田 國守・今長谷 武和・村瀬 敬太郎・田辺 弘之

平成31年2月1日発行

発行/篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1390 FAX092-947-1442 印刷/株式会社三光